

わくわく

向東小学校
1年生だより
平成28年12月19日
NO. 60

2学期も今週でおしまいになります。最後まで頑張ります。



今年最後の「あひる文庫」の皆さんによる本の読み聞かせがありました。「あひる文庫」の皆さんの活動が表彰され、1年生も「おめでとうございます。」と言いました。喜んでくださり、素敵な読み聞かせもしてくださり、嬉しくなりました。



寒くなってきた中、雑巾がけは大変です。そのような中、ある先生が「1年生の〇〇さんは、嫌がる事無く、真面目に一生懸命雑巾がけをしていました。とても頑張り屋で気持ちが良いです。」と言って下さいました。すぐに、「〇〇さん、寒い中、雑巾がけを頑張っていたんだね。〇〇先生がほめていたよ。」と言うと、とても嬉しそうにしていました。その後、次の掃除時間に「〇〇先生、ほめて下さり、ありがとうございます。」と言ったそうです。「何と良い子なのだろうか。」と職員室で話

題になりました。さらに、その子は家に帰って、お家の人にそのことを話すと、翌日の連絡帳に「ありがとうございます。そうじ時間に先生にほめて頂いたと、嬉しそうに話していました。『一生けん命していれば、ちゃんと見てくれる人がいるよ。』と、いつも声かけをしています。向東小学校の先生は、良い所をほめて伸ばしてくれる先生方ばかりで、親としても本当にありがたく思います。」と書いてありました。それもまた先生達で話題になり、寒さも増してきた中、温かいものを感じたものです。このような出来事が家庭や職員室で話題になるのは、嬉しくもあります。

また、地域の方が学校に来られて「1年生と2年生の子が、道路を渡ろうとしていたので、止まって通してあげると、振り返ってきちんとお礼を返してくれました。感動しました。」と、校長先生におっしゃられたそうです。こういった行為もほめたいと思いますし、他の子も大いに真似してほしいことを伝えました。もうすぐ冬休みですが、気持ち良く冬休みをむかえられそうです。

朝のラジオ(コーヒーの宣伝)で次のような言葉を聞きました。

「子供の頃は、よく叱られた。そして、たっぷり誉められた。大人になって、叱ってくれる人は減ってしまった。誉めてくれる人も。だから、自分で反省して、自分で誉めるのだ。頑張る私に美味しいご褒美・・・」

1年生の子供達も、いけない時はしっかり叱り、良い時にはたっぷり誉めると良いのではないかと思います。善悪の判断、やって良い事と、いけない事の判断力をしっかり身に付け、これからの世の中をたくましく生きていってほしいと強く願っています。

連絡帳に次のような内容がありました。

○「親子で順番に計算カードをしてみました。苦手な「ひき算」は、親の私でも苦戦しましたが、子どもと一緒にまたチャレンジしたいと思いました。」 ほほえましい光景が目に見えます。

※ 冬休みの計画表を自分で作らせています。本日持って帰りました。お休み中、子供達の学習・生活の様子を見てやってください。